

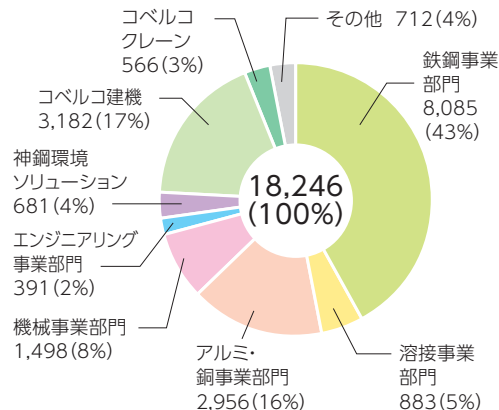
## ■当期の概況

当期のわが国経済は、金融政策や財政政策などの政府の経済対策を背景に、昨年までの円高が是正されたことにより輸出産業が持ち直しに向かい、加えて震災からの復興に伴う需要を含め公共投資が増加するなど、回復基調が継続しました。また、海外においては、米国では緩やかに景気回復基調が継続しましたが、欧州の景気は低調に推移しました。中国では経済成長を維持しているものの、総じて景気の減速基調が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材の販売数量は、自動車向けの需要が堅調に推移したことや、円高の是正の影響などにより輸出環境に改善がみられる中、着実に海外需要を取り込んだことなどから、前期を上回りました。アルミ圧延品の販売数量は、自動車向けの需要が堅調に推移したことなどから、前期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、自動車用端子向けの需要が堅調に推移したことや、半導体向けの需要も回復基調が継続したことなどから、前期を上回りました。油圧ショベルの販売台数は、国内においては、震災からの復興需要に加え、排ガス規制に向けた駆け込み需要などにより増加したことや、海外においては、東南アジアでは需要が低調に推移したものの、中国では景気の底打ち感がみられたことや、北米および欧州における拡販が順調に進捗していることから、前期を上回りました。

この結果、当期の売上高は、前期に比べ1,391億円増収の1兆8,246億円となりました。また、総コストの削減の進展、在庫評価影響の好転や固定資産の減価償却方法の変更影響もあり、営業利益は、前期に比べ1,033億円増益の1,145億円、経常損益は、前期に比べ1,031億円増益の850億円の利益となりました。当期純損益は、前期に比べ971億円増益の701億円の利益となりました。

事業別売上高(平成25年度) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額710億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額1兆8,246億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



### 鉄鋼事業部門

8,085 億円

(前年同期比 +8.8%)



- 鋼材販売数量：自動車向け需要が国内外で堅調に推移、輸出環境の改善もあり前年同期比増
- 鋼材販売価格：主原料価格の上昇を背景に価格改定に努めた結果、前年同期比上昇
- 鑄鍛鋼品売上高：造船向け需要低調、価格下落により前年同期比減
- チタン製品売上高：前年同期比増
- 経常損益：総コスト削減進展、在庫評価影響好転、減価償却方法変更影響により前年比838億円増益の335億円の利益



高強度鋼板(ハイテン)



### 溶接事業部門

883 億円

(前年同期比 +7.5%)



- 溶接材料販売数量：国内の自動車、建築向け需要堅調、下半期は国内の造船向け需要も回復基調も、中国における景気減速継続の影響により前期並
- 溶接システム売上高：中国を中心に建機向け需要低迷も国内向け需要増加により、前期比増
- 経常利益：総コストの削減の進展により前期比50億円増益の72億円



REGARCTM搭載  
省スペース型鉄骨コア・仕口兼用  
溶接システム



### アルミ・銅事業部門

2,956 億円

(前年同期比 +12.8%)



- アルミ圧延品販売数量：自動車向けの需要堅調により、前期比増
- アルミ鑄鍛造品売上高：自動車向けの需要が米国を中心に堅調に推移し、前期比増
- 銅圧延品販売数量：自動車用端子向け板条需要堅調、半導体向け板条需要回復基調、国内外エアコン向け銅管需要堅調により、前期比増
- 経常利益：総コスト削減進展、在庫評価影響好転により前期比112億円増益の151億円



自動車サスペンション用  
アルミ鍛造部品



## 機械事業部門

**1,498 億円**  
(前年同期比  $\triangle 10.4\%$ )



- 受注高：海外を中心に石油精製・石油化学業界向け圧縮機の需要堅調により、前期比39.6%増の1,528億円
- 当期末受注残高：1,222億円
- 経常利益：大型案件の売上計上が集中した前期比55億円減益の64億円



非汎用圧縮機



## エンジニアリング 事業部門

**391 億円**  
(前年同期比  $\triangle 15.9\%$ )



- 受注高：北米およびロシア向け大型還元鉄プラント受注などから、前期比48.3%増の498億円
- 当期末受注残高：833億円
- 経常損益：前期比26億円悪化し、39億円の損失



ロシアのMIDREX®プラント



## 神鋼環境ソリューション

**681 億円**  
(前年同期比  $\triangle 6.2\%$ )



- 受注高：廃棄物処理関連事業の大型案件受注も、案件規模の差により2.3%減の718億円
- 当期末受注残高：472億円
- 経常利益：前期比13億円減益の26億円



西秋川衛生組合向けごみ処理施設



## コベルコ建機

**3,182 億円**  
(前年同期比  $+18.8\%$ )



- 油圧ショベル販売台数：前期比増  
〔国内〕震災からの復興需要に加え、排ガス規制に向けた駆け込み需要などにより増  
〔海外〕東南アジアの需要低調も、中国で底打感、北米・欧州拡販順調に進捗し増
- 経常利益：前期比82億円増益の151億円



20トン級油圧ショベル  
[SK200]

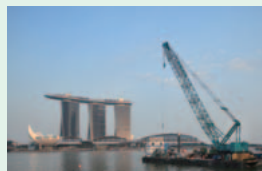


## コベルコクレーン

**566 億円**  
(前年同期比  $+24.5\%$ )



- 販売台数：前期比増  
〔国内〕公共投資増、震災復興需要により増  
〔海外〕東南アジア向け増により増
- 経常損益：円高の是正による輸出採算改善により前期比54億円増益の32億円の利益



クローラークレーン  
[7250S]



## その他

**712 億円**  
(前年同期比  $\triangle 2.8\%$ )



- 神鋼不動産：  
〔分譲事業〕引渡戸数が減少
- コベルコ科研：  
〔試験研究事業〕需要堅調に推移  
〔液晶配線膜用ターゲット事業材〕需要が低迷
- その他の事業全体の経常利益：前期比7億円減益の68億円



ジーフレフ  
垂水高丸

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。